

令和元年東日本台風から6年、被災地では復旧・復興が進む ながの治水対策研究会



写真 長沼地区河川防災ステーション建設現場

一般聴講者
定員30名
(先着順)

令和8年 2/13 [金]
13:30 開場 ▶ 14:00 開会 ▶ 16:00 閉会

会 場 市役所講堂 第2庁舎10階
オンライン Zoom開催 定員100名

プログラム

14:00 - 開会挨拶 長野市長 萩原健司

市長も参加



14:10 - 講演 長野県立歴史館 特別館長 笹本 正治 氏
「長野県の水害と伝承」



■主な書籍
『地域づくりと学びー人材・誇り・観光ー』(2025年、龍鳳書房)
『土石流と水害ー伝承・地名・防災ー』(2022年、高志書院)
『災害文化史の研究』(2003年、高志書院)

14:40 - 話題提供 国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所 小林 崇 氏
「信濃川水系緊急治水対策プロジェクトについて(仮演題)」

長野県 建設部 河川課 清水 範浩 氏
「長野県における流域治水の取組について(仮演題)」

15:00 - 研究発表 信州大学工学部 水環境・土木工学科
「レーダを用いたゲリラ豪雨の予測」

長野工業高等専門学校 環境都市工学科
「小型水位計の開発と水位データ解析による洪水リスク低減」

16:00 - 閉会

一般聴講の応募方法

ながの電子申請サービス
(以下のQRコードから)
先着30名まで

期限 1月30日(金)まで



お申し込みフォーム

Eメール 河川課宛て
氏名(フリガナ)、お住まい
(市内か市外のいずれか)、
聴講場所(会場かオンライン(ZOOM)のいずれか)
を記載の上、ご応募ください。
kasen@nagano.city.lg.jp

期限 1月30日(金)まで